

琵琶湖の総合保全についてのアンケート結果

★調査時期：平成27年5月～6月

★対象者：県政モニター398人

★回答数：350人（回収率87.9%）

★担当課：琵琶湖環境部琵琶湖政策課

★調査目的：県では2050年頃の琵琶湖のあるべき姿を念頭に、琵琶湖と人との共生を基本理念にしてマザーレイク21計画（琵琶湖総合保全整備計画）第2期改定版を平成23年10月に策定し琵琶湖の総合的な保全を行っています。

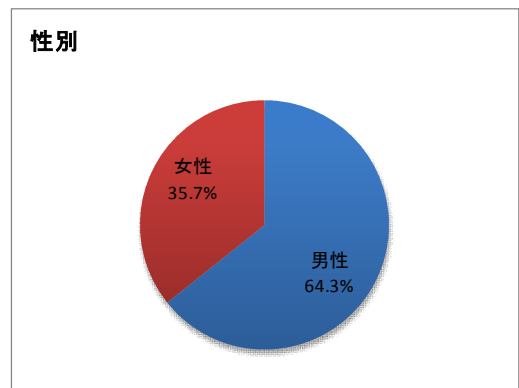
同計画を進めていくにあたり、琵琶湖に関して皆様にアンケート調査をさせていただき、状況を把握させていただきたいので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

（※四捨五入により割合の合計が100にならない場合があります。）

【属性】

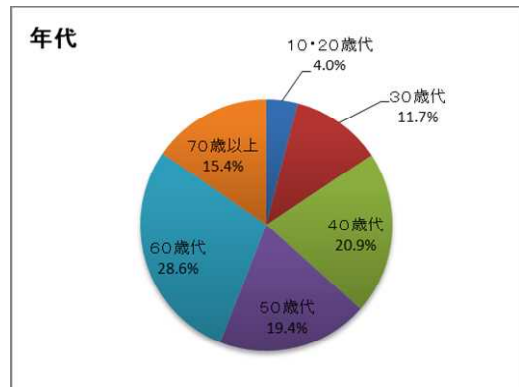
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	225	64.3
女性	125	35.7
合計	350	100.0



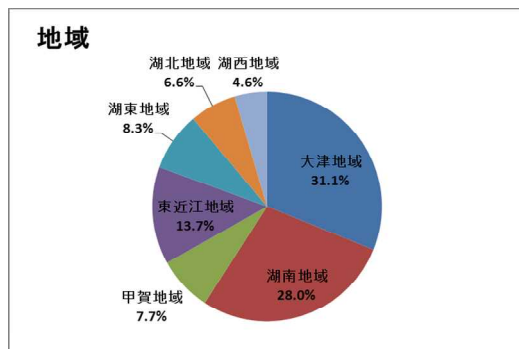
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	14	4.0
30歳代	41	11.7
40歳代	73	20.9
50歳代	68	19.4
60歳代	100	28.6
70歳以上	54	15.4
合計	350	100.0



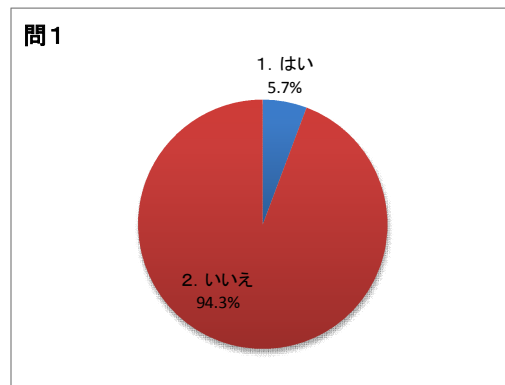
◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	109	31.1
湖南地域	98	28.0
甲賀地域	27	7.7
東近江地域	48	13.7
湖東地域	29	8.3
湖北地域	23	6.6
湖西地域	16	4.6
合計	350	100.0



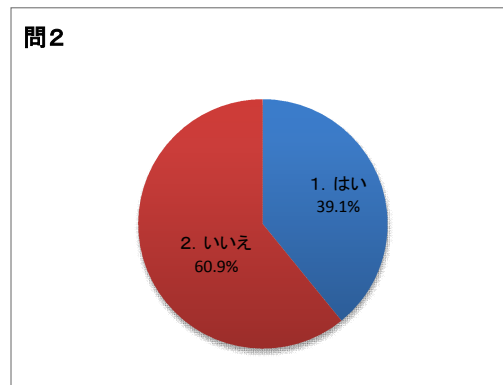
問1 琵琶湖や地域の環境を保全していくため、NPO等の環境保全団体に所属していますか。(回答チェックは1つだけ。n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	20	5.7
いいえ	330	94.3
合計	350	100.0



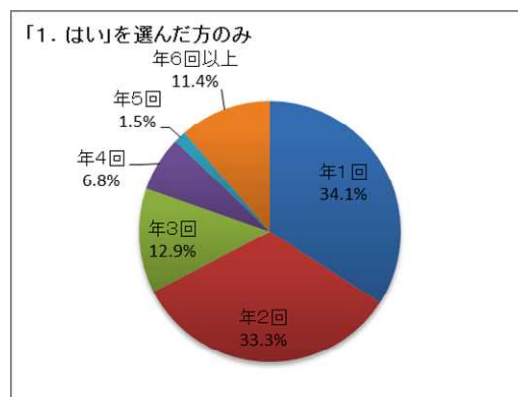
問2 過去1年間に環境保全活動(ゴミ拾い、ヨシ刈り、川の草刈り等)に参加したことがありますか。(回答チェックは1つだけ。n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	137	39.1
いいえ	213	60.9
合計	350	100.0



問2で「はい」を選んだ方にお尋ねします。年に何回くらい環境保全活動に参加されましたか。(回答チェックは1つだけ。n=132 ※無回答数5を除く)

項目	人数(人)	割合(%)
年1回	45	34.1
年2回	44	33.3
年3回	17	12.9
年4回	9	6.8
年5回	2	1.5
年6回以上	15	11.4
合計	132	100.0



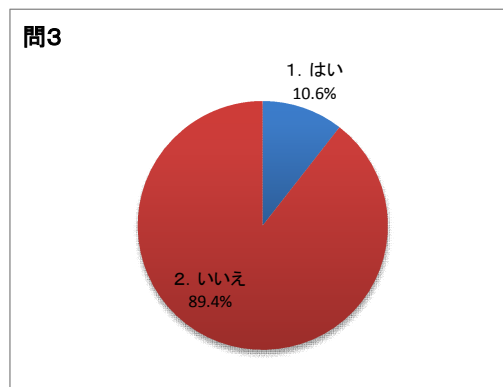
問2で「はい」を選んだ方にお尋ねします。どのような環境保全活動をされましたか。

(※主なものを記載)

- 地元自治会、職場、子ども会、学校、自治体、NPO 等の環境美化運動
- 個人によるごみ拾い
- 「ごみゼロの日」、「びわ湖の日」等への参加
- 琵琶湖岸のごみ拾い
- 農業用水路の清掃
- 河川の草刈り
- ヨシ刈り
- 環境こだわり米の生産・環境保全型農業の取組
- 桜や椴の植栽

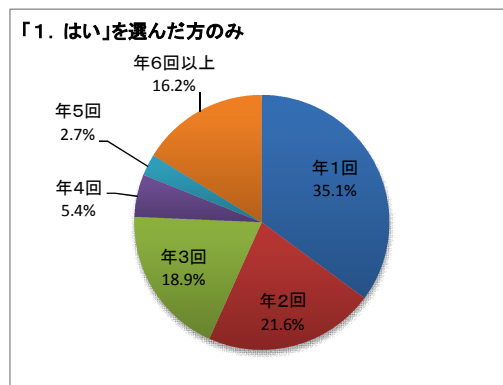
問3 過去1年間に環境学習（セミナー、学習会、観察会、環境フォーラム等）に参加したことがありますか。（回答チェックは1つだけ。n=350）

項目	人数（人）	割合（%）
はい	37	10.6
いいえ	313	89.4
合計	350	100.0



問3で「はい」を選んだ方にお尋ねします。年に何回くらい環境学習に参加されましたか。（回答チェックは1つだけ。n=37）

項目	人数（人）	割合（%）
年1回	13	35.1
年2回	8	21.6
年3回	7	18.9
年4回	2	5.4
年5回	1	2.7
年6回以上	6	16.2
合計	37	100.0



問3で「はい」を選んだ方にお尋ねします。どのような環境学習に参加されましたか。

(※主なものを記載)

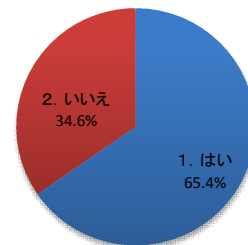
- 自治会活動を通じての研修会
- 湖上セミナー、マザーレークフォーラム、淡海川づくりフォーラム
- 滋賀県レイカディア大学
- 大津市環境市民調査、高島エコライフ環境フォーラム、甲賀市環境フォーラム
- 能登川博物館ホテル観賞会、栗東自然観察会
- 滋賀県地球温暖化防止活動推進員研修会
- わたか放流体験
- 省エネセミナー
- びわ湖環境ビジネスメッセ
- 企業の研修会
- 滋賀大学琵琶湖水質観測船、滋賀大学環境支援士会フォーラム
- 土木学会環境水理学研究会、河川環境研究会

問4 家庭排水をできるだけ汚さないように、何か気をつけていますか。

(回答チェックは1つだけ n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	229	65.4
いいえ	121	34.6
合計	350	100.0

問4



問4で「はい」を選んだ方にお尋ねします。気をつけていることはなんですか。

(※主なものを記載)

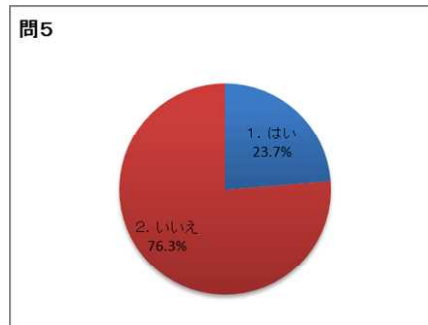
- 洗剤の使用量を少なくする、分解されやすい洗剤を使う、重層やクエン酸を使う
- 料理に使った油は出来るだけ流さない、ゴミは流さない、調味料等は流さない
- 油など食器の汚れはふき取って可燃ごみにしてから食器を洗う
- 食用油のリサイクル
- シンクや洗面台等はフィルターによるゴミ除去、下水スクリーン弁の清掃に心がける
- ゴミを減量するよう、買い物の時点から心がけを始めている。無駄なものを買わない
- 油を用いる献立を少なくする
- 風呂の残り湯の洗濯利用、米のとぎ汁の庭への散布
- 牛乳瓶等の空きビンをすすいだ水は植物へやる

- 汚れのひどい水は下水に流さず、畑で処理する
- 野菜くず、枯れ葉等を畑に処分する
- 洗濯等をできるだけまとめて排水量を減らす
- 無洗米を使用
- 生ごみは専用処理機にて処理後に廃棄
- 町内の全体で合併浄化槽を設置し、家庭排水を浄化して排水

問5 月に1回以上、琵琶湖で捕れた魚や貝類を使って料理を作り食べますか。

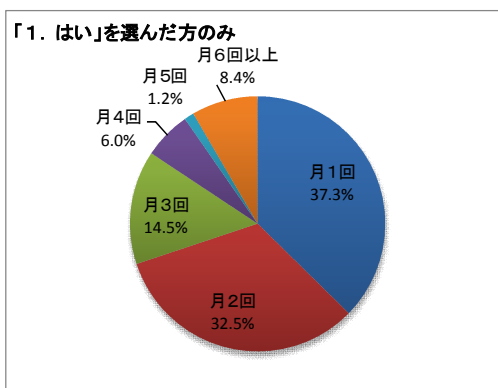
(回答チェックは1つだけ n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	83	23.7
いいえ	267	76.3
合計	350	100.0



問5で「はい」を選んだ方にお尋ねします。月に何回くらい魚や貝類を使って料理を作り食べますか。(回答チェックは1つだけ。n=83)

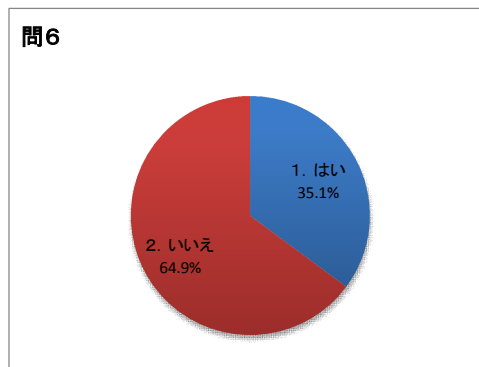
項目	人数(人)	割合(%)
月1回	31	37.3
月2回	27	32.5
月3回	12	14.5
月4回	5	6.0
月5回	1	1.2
月6回以上	7	8.4
合計	83	100.0



問6 過去1年間に琵琶湖や河川で遊んだことがありますか。

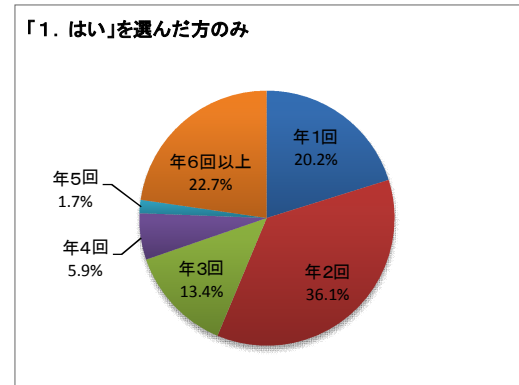
(回答チェックは1つだけ n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	123	35.1
いいえ	227	64.9
合計	350	100.0



問6で「はい」を選んだ方にお尋ねします。年に何回くらい琵琶湖や河川で遊んだことがありますか。(回答チェックは1つだけ。n=119 ※無回答数4を除く)

項目	人数(人)	割合(%)
年1回	24	20.2
年2回	43	36.1
年3回	16	13.4
年4回	7	5.9
年5回	2	1.7
年6回以上	27	22.7
合計	119	100.0



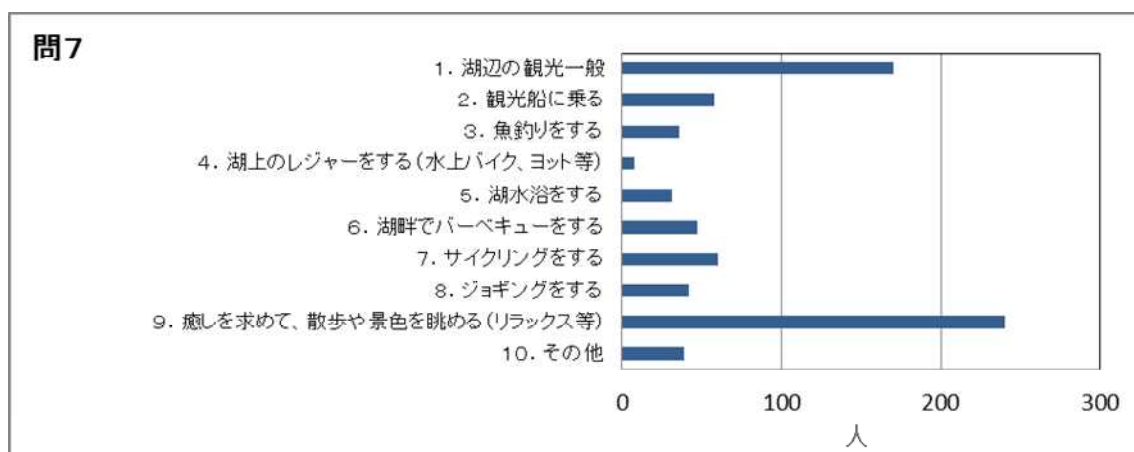
問6で「はい」を選んだ方にお尋ねします。どのようにして遊んだことがありますか。(※主なものを記載)

- 琵琶湖畔を散歩、ジョギング、サイクリング
- 琵琶湖畔や川での水遊び、魚つかみ
- 湖水浴場で水泳
- カヌー体験
- 自転車で「ピワー」
- 琵琶湖一周ウォーキングに参加し湖周道路を一周
- 湖上観光、観光船で琵琶湖めぐり、花見
- 投網、地引き網の体験
- バス釣り
- 湖岸で貝殻や枯木拾い
- 写真撮影
- バードウォッチング
- 湖周道路をドライブ
- 公園施設等でキャンプ、バーベキュー
- 烏丸半島でハス鑑賞
- ドラゴンボート
- 川で鮎釣り
- オオサンショウウオの生息地観察

問7 琵琶湖を訪れる時はどのような目的ですか。

(回答チェックはいくつでも可。n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
湖辺の観光一般	170	48.6
観光船に乗る	58	16.6
魚釣りをする	36	10.3
湖上のレジャーをする(水上バイク、ヨット等)	8	2.3
湖水浴をする	31	8.9
湖畔でバーベキューをする	47	13.4
サイクリングをする	60	17.1
ジョギングをする	42	12.0
癒しを求めて、散歩や景色を眺める(リラックス等)	240	68.6
その他	39	11.1

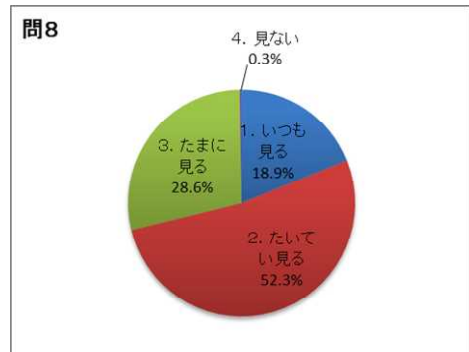


問7で「その他」を選んだ方の内容

- 写真撮影
- 犬の散歩
- 水量や汚れ等の確認、気象 湖象情報の収集
- 沖島のPR
- 子どもの砂場遊び
- ドライブ
- 動植物に触れる
- 遊歩道のごみ拾い
- 花火大会
- 朝日レガッタ見学
- 他県からの来県者への案内
- 通行のため
- 訪れることはほとんどない

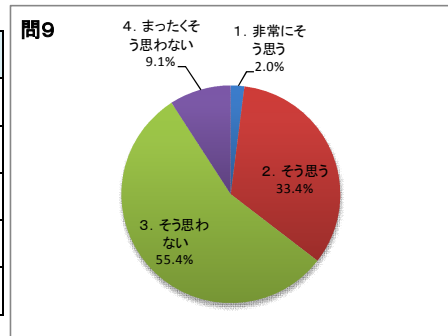
問8 新聞やテレビなどで琵琶湖に関するニュースがあった時は見ますか。
(回答チェックは1つだけ。n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
いつも見る	66	18.9
たいてい見る	183	52.3
たまに見る	100	28.6
見ない	1	0.3
合計	350	100.0



問9 琵琶湖の水は、質・量ともに良好で十分であると思いますか。
(回答チェックは1つだけ。n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	7	2.0
そう思う	117	33.4
そう思わない	194	55.4
まったくそう思わない	32	9.1
合計	350	100.0



問9の理由もあわせてご記入ください。

(※主なものを記載)

(良好と思う面からの意見)

- 最近南湖の透明度も改善されつつあるし、水質が良くなった実感がある
- 富栄養化防止条例がだされ、下水道が整備されるようになってから、かなり水質がよくなったと思います。
- 質・量ともほぼ十分だと思う。瀬田川のシジミが捕獲できるようになった、もろこも捕れだしてきたとテレビでも放映があった。我々農業をしているものとして農業用水が潤沢に利用できるのも琵琶湖のおかげだと思っている。
- 水質が20年くらい前に比べると格段に良くなったと思います。
- 他県の湖と比較すると非常にきれいで豊かである
- 琵琶湖総合開発事業などによる改善効果が大きい

(良好でないとの面からの意見)

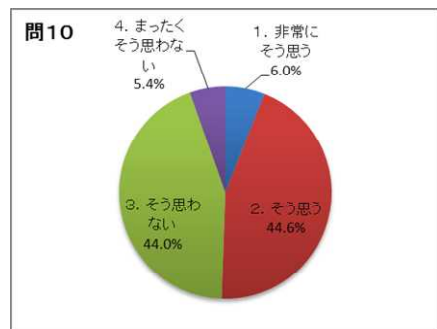
- 外来水草の繁殖や湖水の汚れなどを実感しています
- 全然透き通ってないし、水草が繁殖して臭い
- 子どものころには、水泳に行っても底が見えた。シジミ等も足の指で取れた。

- 昔に比べて格段に水の透明度が悪くなっている。
- プラスチック類の浮遊や砂浜で死んだ魚を良く見かけ腐敗臭に遭遇する。特に南湖ではあるが、藻の大量発生や対流がなく水質の悪い淀み等も見かけ、更なる水質の改善は必要。BODの横這い推移、南湖のCODの劣化傾向のデータも事実としてある。
- 量は問題ないが、質の低下が心配、特に湖底の汚染が蓄積されているようで、近い将来には余呉湖のような活性化対策が必要になるのではと思う。
- 量は十分であると思うが、質は十分であるとは言えない。透明度等の指標にまだ改善の余地がありそう
- 湖北に比べると、南の水面や周囲にゴミがあふれていて汚いと思う
- 夏はひどくにおう。琵琶湖虫が年々多くなっている
- 湖底が酸素不足で汚れている。昨今は雪も少なく水もよどんでいる。
- 希釈率の問題で表面化しただけで実際は汚染が進んでいると思う
- 飲料水がおいしくない。
- 夏期にはカビ臭がする

問10 琵琶湖の生態系は豊かだと思いますか。

(回答チェックは1つだけ。n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	21	6.0
そう思う	156	44.6
そう思わない	154	44.0
まったくそう思わない	19	5.4
合計	350	100.0



問10の理由もあわせてご記入ください。(※主なものを記載)

(生態系は豊かと思う面からの理由)

- 琵琶湖の生態系は多様で、1,000種類を超える動・植物が生息している。日本最大の湖で、古代湖であり、魚類や底生動物など50種以上の固有種を含む生物相に富む。
- プランクトンから魚類、鳥類、植物まで多種多様な種が見られる
- 魚の種類や数は他の湖と比べると多い
- 生態系が崩れていると言われながら、固有種も多く保全のための活動も感じられる。
- 渡り鳥が多数飛来、魚類も豊富
- 琵琶湖博物館で見られる生物が豊富なので
- かいつぶり等鳥がたくさんいるのをみし、その餌になる魚や藻、虫等がいるから。
- 日本一の貯水量を誇り、多くの植物・生物固有種が確認されていること。県内の降水のほとんどが琵琶湖に注ぎ、周囲を1000m級の山地に囲まれている立地、環境は生態系豊かであると言わざるを得ない。
- 最近、私たちの河川でも魚が戻ってきた

- よくはわからないが、琵琶湖にはまだまだ未知のもしくは既知の生物(魚類、植物)が生存している可能性があり、豊かであると思える。ただ、水質汚染、外来魚等により、壊されて行っているような気がする。

(生態系は豊かでないと思う面からの意見)

- 外来魚や外来植物、藻の繁茂で生態系が変わってきていると思う
- 過去の淡水魚・瀬田シジミの激変と減少が気になる。漁業者の悲鳴を聞く。
- 釣りをしても釣れるのは外来種の魚ばかりだから
- 40年前などは、雨が降ると小さな河川や田んぼにも小鮎やフナなどが遡上していた
- 子供の頃見た魚類が見なくなった。(ぼてじゃこ、タナゴ等)
- 小鮎、海老などの数が減っている

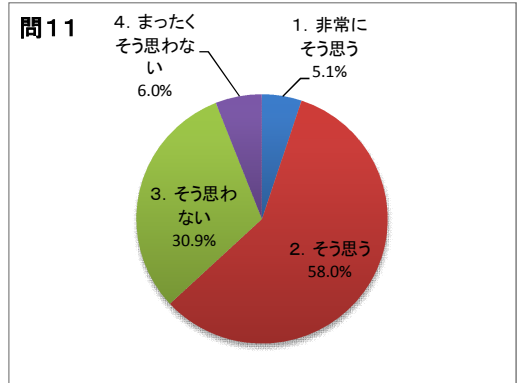
(その他の意見)

- 琵琶湖の生態系についてあまり知らない
- 外来魚駆除の進展と、固有種の保護育成が進んでいる。しかし、過去の生態系に戻すことも大事だが、新しい生態系の構築が自然界で進んでいるのではないか。
- 生物が繁殖できる水際がコンクリートで固められているから。
- 外来魚の投入によって、在来種が生息しづらい環境になったと思います。天ヶ瀬ダムによって人への危機管理は一定できていると思いますが 瀬田川が自然河川でなくなり昭和中期までの生態とは異なっていると思います。

問 1 1 琵琶湖や湖岸の景観は良好であると思いますか。

(回答チェックは1つだけ。n=350)

項 目	人数(人)	割合 (%)
非常にそう思う	18	5.1
そう思う	203	58.0
そう思わない	108	30.9
まったくそう思わない	21	6.0
合計	350	100.0



問 1 1 の理由もあわせてご記入ください。(※主なものを記載)

(景観は良好であるとの面からの意見)

- 湖岸道路も整備されて、眺めも良好だから。
- 四季折々の自然の美しさを見せてくれるから
- 今津港と長浜港より北部の景観は、今も良好だと感謝している
- 公園の整備がきれい
- 白砂青松に代表される地域も多く、ヨシの保全にも努力されている。

- 行政がヨシ保全条例など景観保護につとめている。
- 対岸が見渡せる県など他にない、非常に美しいと思う
- 南湖の湖岸ベリは湖と親しみがもてる公園等ができ琵琶湖の素晴らしさを実感できる。北湖は自然のすばらしさは認められるが自然の力にゆだねているだけのように思え、維持保全に人間の取組みが見えないように思う。
- 他県の湖沼と比べても美しい
- 湖水を取り巻く山々、里山、豊かな田園、春夏秋冬の変化の豊かさ。それらにより育まれた歴史・文化遺産が豊富。

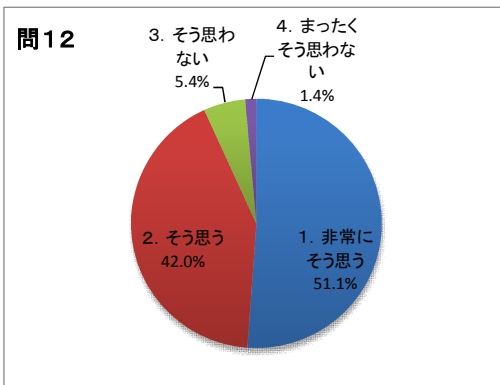
(景観は良好とは思わない面からの意見)

- 浜辺でのポイ捨てやゴミの散乱なども多く見られるから。
- 大量の水草、藻の発生が目立つ。
- 湖岸に高層マンションが建ちすぎて琵琶湖と山々の景観が損なわれている。
- 南湖のマンション等の高層建造物は景観を悪くしている
- 人が頻繁に利用する地域は綺麗に整備されているが、そうでないと放置状態
- ボート等の置き場がよくない
- 湖岸の木々が減っていると思うし、近江八景に描かれているような美観はどんどん開発で失われてきていると思うから。
- 地域により差がある。湖岸が削られているところ

問 1 2 私たちの暮らしと琵琶湖との関わりは深いと思いますか。

(回答チェックは1つだけ。n=350)

項 目	人数(人)	割合 (%)
非常にそう思う	179	51.1
そう思う	147	42.0
そう思わない	19	5.4
まったくそう思わない	5	1.4
合計	350	100.0



問 1 2 の理由もあわせてご記入ください。(※主なものを記載)

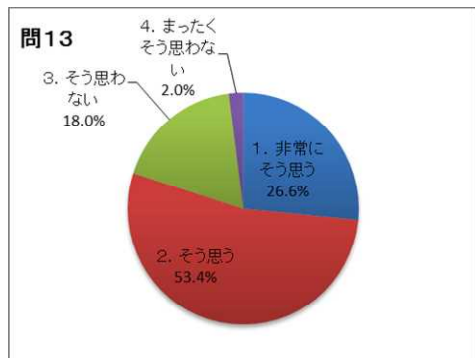
(深いと思う面からの意見)

- 飲料水はやはり琵琶湖なしでは無理だし、かけがえのない存在だと思うから。
- この水が無くなったらと考えれば解る。影響度の大きさ。
- 食生活ひとつとっても琵琶湖と切り離せない
- 上下水道の完備により、昔ほどではなくなったが、上水道の恩恵は琵琶湖からであり農業用の灌漑用水も琵琶湖からである。
- 琵琶湖の恩恵(魚や水)が昔から続いている。

- 湖岸の景観を日常楽しんでおり、関わりは深い
 - 穏やかな気候環境は琵琶湖があつてこそ。
 - 滋賀県は周りを山に囲まれていて他府県から景観上は隔離されていて、対極に琵琶湖があり、日常生活の中に琵琶湖との一体感があると思います
 - 水がすべての癒しとなり、安心感を生む。
 - 琵琶湖があるお陰で、県民の一体感・帰属意識が他県に比べて高いように思う。
 - 母なる湖だからとしか言えないぐらい身近だし、滋賀県民のシンボルだから
 - 琵琶湖の水資源は飲料をはじめ、工業用水、農業用水にいたるまで大きく依存しているから。まさに「いのちの湖」である。
 - 大事な水源、観光資源、水産資源としての役割を果たしているから
 - 琵琶湖がなければ京阪神の水の供給は危機的な状態となる。滋賀住民はその事をよく踏まえ琵琶湖を大切にする義務がある
- (深いと思わない面からの意見)
- 上流域に生活しているので、あまり関わりがあるように感じられない
 - 地理的に琵琶湖の水を使うことがない。
 - 琵琶湖に行く機会が車で横を通る程度なので。

問 1 3 琵琶湖は、漁業や観光などの産業資源として役立っていると思いますか。
(回答チェックは1つだけ。n=350)

項 目	人数(人)	割合 (%)
非常にそう思う	93	26.6
そう思う	187	53.4
そう思わない	63	18.0
まったくそう思わない	7	2.0
合計	350	100.0



問 1 3 の理由もあわせてご記入ください。(※一部を記載)

- (役立っていると思う面からの意見)
- 観光としての琵琶湖、名称が全国区
 - 貴重な観光資源としての役割は大きい。
 - 遠方に出掛けた時の説明に用いている
 - 旅行することが好きで各地を回りましたが、山も湖もあり、四季の移り変わりがすべて整っているのが滋賀県と認識しています。
 - 湖産のブランド商品や日本一の湖としての観光活用に役立って入る。
 - 琵琶湖周辺の景観は優れており資源として役立っている。
 - 遊覧船の就航、固有種を使った郷土料理などさかんに作られていると感じるから。
 - 琵琶湖の伝統的な漁法は観光資源として注目を集め、捕れる魚はまさしく産業資源と

なっている。

- 琵琶湖の日本人への知名度と、そこから生まれた鮎寿司、鮎料理、エビ豆、うなぎ料理などは役立っていると思います。慾を言えば、外国人への知名度が欲しいです。
- 他府県からたくさん釣りに来ている人を見るので。

(役立っていると思わない面からの意見)

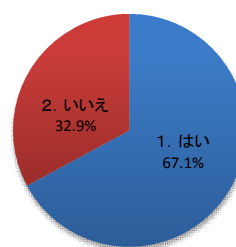
- 漁業では、安定した利益が求められる状況とはとれず、観光においても接する自治体単独の取組では県外からの観光目的の誘導には弱いと思う。
- 琵琶湖目当てに滋賀に観光に来る人が少ないと思うから
- 大切な観光資源であるのに、それが活かされているとは言えない。
- 琵琶湖で獲れる魚をあまり聞かない。観光でもって他府県にアピールする特徴がない
- 県外では、ふなずし以外の湖魚料理はあまり知られていない
- 湖上交通網の充実と確立、そして豊富な淡水魚による漁業者の生活権の確立が必要である。
- 観光は産業としてある程度の規模があるが、漁業は産業とはよべない程度。豊富にある水を活かして、海産魚の陸上養殖を進めれば将来性がある。
- 観光地としての知名度が芦ノ湖や諏訪湖など他の湖より極端に低いと思う
- 魚が釣れるととっても良いと思う。日本一の大きさを誇る湖なので、日本一のバス釣りのメッカにしてほしい。
- 漁業は外来種の増殖で被害甚大。観光では観光船などあるが琵琶湖の歴史文化を観光につなげる創意工夫が不足しており時代にあった状态的集客への仕掛けが弱く琵琶湖周辺の活性化には程遠い状態です。
- アピール不足と駐車場不足。公共交通機関が不備な為観光がダメ。

問 1 4 自分の住む地域の洪水ハザードマップを知っていますか。

(回答チェックは1つだけ n=350)

項 目	人数 (人)	割合 (%)
はい	235	67.1
いいえ	115	32.9
合計	350	100.0

問 1 4



問 15 その他、琵琶湖の保全についてご意見がございましたらお聞かせください。

(※一部を記載)

- 琵琶湖は滋賀県だけのものではなく近畿の水瓶であり、また日本を代表する湖であり、その使命は大きなものがある。県民皆が日常生活の中でしっかりと守っていくという意識付けが大切。
- 琵琶湖の水源は、周囲の山々からの伏流水と言って過言ではありません。森林整備については以前から必要性を問われながら、山林労働者が少なく、将来が心配されま
す。琵琶湖周辺の環境保全も大切ですが、水源涵養について真剣な取組が必要と考
えます。
- 近年の局地的豪雨や、住宅地開発による雨水管理の見直し、更には福井県の原因事
故時の対応、或いは、西岸断層帯地震対策等の広義に渡った、深く・幅広い見地から
の検討が必要である。
- 当たり前ですが、琵琶湖保全には県民の意識の向上が必要不可欠であると思いま
す。効率よく意識の向上をするには、子供への訴えかけがいいと思います。
- 私を含めて元気なシニアは多い。これらの人の力を借りて(ボランティアとして)月に2
回 地区ごとに清掃日を決め「琵琶湖をきれにしたい会」として 県が各自治体にも声
をかけ募集してもらえれば多くの元気なシニアは参加してくれると思われる。
- 清掃ボランティア活動を小学から企業単位にまで広げ、子供の頃から言葉だけの教育
でなく実践訓練として行う安全配慮の方法はいくらでもあるはず。エリアを湖周だけと
せず、河川、河川敷まで広げ若い頃から環境汚染に対する意識を身につけさせる。子
供には河川公園等の清掃、学生や生徒には清掃ボランティアを年2回、企業にはボラ
ンティア・ポイントを設けさせ、ボランティア内容に応じた休暇取得制度をつくる。自ら清
掃すれば環境汚染も自覚できるであろう。
- 琵琶湖は滋賀県の宝物であり、つねづね滋賀県を「びわこ県」に変えたり、車のナンバ
ーに「びわこ」を使用すると良いのではないかと考えている。
- 滋賀県の人だけがいくら規則を守っていても、県外から来たバーベキュー利用者が琵
琶湖の周りでバーベキューをしてゴミを放置していたら意味がないと思う。
- 自宅前が琵琶湖ですが、泳ごうと思っても水上バイク等が航行禁止区域まで平気で入
って来る為、危なくて泳ぐ事ができない。もっと罰則規定を作り取り締まって欲しいもの
です。美しい琵琶湖を守る為に、水上バイクを禁止する必要があると考えます。
- 家庭では洗濯に合成洗剤ではなく粉石鹼を使うよう指導すべき。
- 県民生活に直結する琵琶湖を守るために、また県民1人一人が琵琶湖を誇り得るよう
に、特に「琵琶湖一斉清掃活動の日」(琵琶湖クリーン作戦)には、各自治会や企業・
各種団体を通じて、もっと強力に出場参加を義務付ける方策を取るべきである。
現に県民の意識がまだまだ未熟で低いのが気になります。
- 琵琶湖清掃など、自治体ごとに行っていると思うが、自治会がない地域は参加したくて
も出来ない。もっと多くの人々が自主的に参加できるようなやり方を行ってほしい。
- 日本最大の湖をもつ滋賀県としては、琵琶湖に限らず、湖沼や河川などの保全につい
て他県をリードして行ってほしい。また、この分野においては、国内のみならず世界を
もリードして行ってほしい。

- 水のきれいな他県の湖に比べ汚さやにおいが気になります。県のシンボルとして良いイメージを保つためにボランティアに頼らず税金の使用で清掃や環境整備で美観や安全を守ることもやむを得ないと思う。そして、良いイメージで観光などで利益をもたらせばよいと思う。
- 外来魚を駆除しないでほしい。魚が釣れない琵琶湖にあまり魅力を感じないから。近年ブラックバスを外来魚に指定し、駆除しているが、そもそも国の方針が間違っていると思う。すでに生息している魚を電気ショックで駆除する光景はあまりにもむごい。琵琶湖の湖岸整備を進めた影響で魚が激減したと思う。外来種の責任にしているのはおかしい。多くの生物があふれる琵琶湖にしてほしい。人間の損得のみを優先しないでほしい。
- やはり、人間の環境として湖は、ゴミや雑物などはもとより、水質や浮遊物などはきれいに清掃されていて気持ちの良い方がいい。水草や藻とは共存していても良いとも思えるものであるが、異常に繁殖してしまいバランスが崩れるのは避けた方がいい。人工的なものであっても自然の摂理に寄与する工事や施設などは整備して欲しいと思う。人間の身勝手な観光目的であるかもしれない施設であっても保全を兼ねる整備を進めて欲しいところがマダマダたくさんあると思える。
- 京阪神に住んでいる私たち住民にとって琵琶湖は命の水がめだと思いますので滋賀県民だけにとどまらず近畿圏的にみんなで大切に保全していきたいと思います。
- 琵琶湖の総合保全は、マザーレイク21計画(琵琶湖総合保全整備計画)第2期(2010年～2020年)が進められている。2期計画改定で記述されているように、計画は長期であるためPDCAサイクルを回して、計画の進捗管理を実施するとともに、適宜見直しを確実に実施願いたい。また、県民に対してこのことをわかり易く情報開示することが重要である。
- 世界遺産登録はできないものでしょうか？
- この時期になると良くエンジンのついたモーターボートや水上バイクを見かけるが、あれはみんな許可を得ているのでしょうか。すごく琵琶湖に悪いと思うのですが。又、湖岸につないであるボート等は景観も悪いし何とかして欲しいと思う。県はもっと強気で琵琶湖を守るべきであると思う。
- 最近テレビでよく京都と滋賀の関係がとりあげられ、京都から琵琶湖の水の使用感謝金として年に2億円以上が支払われている事を何度か視聴する機会が続いてあった。琵琶湖の保全は常々労力と金がかかるとの思いがあったが、この感謝金の使途は当然琵琶湖の保全のために使用されていると思うが実態はどうか気になった。
- 夏に大量発生している水草は、宝の山なのではないかと思う。せっかく滋賀県にはよい大学が沢山あるのだから、企業と大学がもっと連携して新しい価値を見出すプロジェクトを推進してほしい。
- 保全のために実施すべきこと、そのために必要なマンパワーや予算などを判りやすく明示した上で、近畿圏全体でまかなって行くべく他府県にも負担を求めていくべきだと思います。
- 水道水の使用量に応じて、たくさん使用する個人や企業から『水道水税』を徴収して保全対策の費用に充てる。